

# い

編集発行：池田市議会  
住所：大阪府  
池田市城南  
1丁目1番1号  
郵便番号：563-8666  
TEL：072-752-1111  
FAX：072-753-5414  
<http://www.city.ikeda.osaka.jp/>

# けだ

No.121

いけだ市議会だより

平成23年（2011年）1月1日



## 新年のごあいさつ

議長・副議長 …………… 2

各 会 派 …………… 2～3

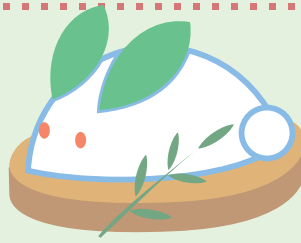
委員会レポート …… 4～6

平成21年度 各会計決算審査

やまばと …………… 6

五月山動物園にて

いけだ市議会だよりは再生紙を使用しています。



# 謹賀新年



議長

奥野康俊



副議長

馬坂哲平



新年あけましておめでとございます。

市民の皆様には、さわやかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、わが国の景気の先行きは依然不透明で、昨年は航空会社の破綻や、急激な円高・株安など日本経済は深刻な状況が続いており、市民生活はもとより地方自治体におきましても依然厳しい状況が予想されます。

このような状況の中、本市におきましては、9年連続で黒字決算となりましたが、市税収入の大幅な減収を補うための減収補てん債の発行や、財政調整基金を取り崩すなど臨時財源によるところが多く、引き続き行財政改革を推進し、自主財源を確保する必要があるとことです。

私たち市議会といたしましても、昨年の9月定例会におきまして議員定数を23人に削減し、さらに政務調査費を月額6万円に減額するなど議会改革に努めてきました。今後、開かれた議会をめざしてさらなる改革に取り組む所存です。本年4月には私たち議員の改選を迎えますが、全力をあげて市民の皆様への安全・安心を基本に市民生活の安定・向上をめざして、議決機関としての権能、役割を十分発揮してまいります。

どうか、市民の皆様におかれましては、市議会に対しより一層のご支援、ご理解を賜りますようお願いいたしますとともに、本年も、皆様にとりまして、幸多い年となりますよう祈念いたします。新年のあいさついたします。

## 2011.1.1 A HAPPY NEW YEAR

### 自民同友会議員団

新年あけましておめでとございます

市民の皆様には輝かしい新年をご家族お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。平素よりのご支援・ご指導に感謝申し上げます。

さて、現在の民主党政権は政治とカネ・マニフェストの不実行・尖閣問題などこれをとっても政治の方向性やリーダーシップが感じられません。

一刻も早い解散総選挙の実施を強く望むものであります。池田市の財政も景気の低迷により依然として厳しい状況が続いていますが、私たちが先頭に立って、行財政改革を断行して市民が安全・安心に暮らせるまち池田を目指して頑張る覚悟でございます。

どうか本年も、市民の皆様への温かいご支援・ご指導を心よりお願い申し上げます。



秦 寛房実



細井 馨



川西 二郎



奥野 康俊



松本 眞



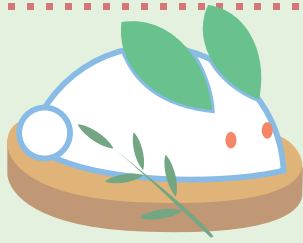
榎木 猛



木下 克重



小林 一夫



## 民主・市民連合議員団

市民の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申しあげ、あわせて平素のご支援に感謝いたします。

昨年夏の参議院選挙の結果国会はねじれ、課題山積の外交と共に、内憂外患・激動の時代の到来です。私たち議員団は、10万市民の声をしっかりと聞き、自らの眼で確かめ、何が皆様にとって幸せにつながるかを考え、学習し行動する「政策集団」として市政運営に厳しい視点をもって、全員次なるステップに向け力を

注いでまいります。  
結びに、皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。



渡邊 千芳 辻 隆児 内藤 勝



新井 芳江 前田 敏 山田 正司

## 公明党議員団

新年あけましておめでとうございます

「現場第一主義」  
「大衆と共に歩む」  
「大衆と共に語る」  
を原点とするニュー公明党に時代の光が当たっています。  
本年も、「平和」と「福祉」のため、行財政改革を基本として、市民の「安全・安心」を第一義に取り組んでまいります。



吉本 光夫



木ノ平恵子



馬坂 哲平



多田 隆一

## 日本共産党議員団

新年あけまして

おめでとございます

昨年は新政権が国民の厳しい審判を受け、二大政党制が大きく揺らいだ年でした。

今年は、いっせいで地方選挙の年です。

消費税増税許さず、安定した雇用の確保、福祉・くらし最優先の市政をめざし、みな

さんと力をあわせてがんばる決意です。

どうか本年も皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



垣田千恵子



難波 進



山元 建



藤原美知子



白石 啓子

## 無所属

行き詰った池田の再生に  
力をいとわず、行政改革  
は 働く「まちの見張り番」



中西 昭夫

議員の年賀状・暑中見舞い・寄付行為は、法律で禁止されています。  
また、祝電・弔電についても申し合わせにより自粛しています。  
市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



# 委員会 レポート

## ● 21年度各会計決算審査 ●

9月定例会で、常任委員会に審査付託した平成21年度の各会計決算について、議会閉会中に各委員会を開催し審査しました。  
12月6日の本会議で、各委員長が審査の結果報告を行い、それぞれ委員長報告とおり認定しました。各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

### 総務委員会

10月27日開催

#### 市税収入の見通しは

〔一般会計〕

**問** 平成21年度は世界的経済危機のあおりで、市税収入は全体でおよそ18億円の減収となった。特に法人市民税は約15億6700万円の減少となり、還付金の4億円を合わせると20億円にのぼる影響を受けたが、平成22年度の市税収入の見通し及び納税義務者数の推移を問う。

また、固定資産税では納税義務者が増加しているにもかかわらず、収入済額は減少しているが、その理由を問う。

## 平成21年度決算額と ほぼ同額

**答** 平成22年度当初予算の市税収入は、景気の先行き不透明感などから平成21年度決算額とほぼ同額の約160億円を計上しており、納税義務者数についても大きな変動はないものと推測している。

また、固定資産税の減収は滞納の増加や地価の下落が大きな要因と考えている。

### 中心市街地活性化事業 実施の効果は

〔一般会計〕

**問** 中心市街地活性化事業における池田ブランド構築事業の進捗状況及び商店街空き店舗活用事業の内容並びに地域にもたらした効果を問う。

### 地域密着イベントを展開 一定の効果が上がっている

**答** 池田ブランド構築事業は、月一回程度「おたなKAWAIAー（お店界隈）」の名称で、「落語のまち池田」にちなんだイベントなどを実施し、商店街や参加店に経済的波及効果が及ぶようにさまざまな仕掛けを試みている。

## 地方公営企業法 全部適用が望ましい

**答** 全国的に一番多い経営形態の見直しは、地方公営企業法の全部適用化で、次に多いのが非公務員型の地方独立行政法人化である。その他、指定管理者制度や、民間売却等もあるが、これらの経営形態では公立病院として存続していることにはならない。

地方公営企業法の全部適用化よりも地方独立行政法人化のほうが優位であるという総務省見解があるが、独立法人化により収益性が確保できるわけではなく、理事長の経営手腕に委ねられる部分が大きいと考えている。また、地方公営企業法の全部適用を受けていても、病院事業管理者が市長から全権委任を受けていない病院では経営状況が悪い傾向にあり、現時点では現況の地方公営企業法の全部適用が、一番望ましい経営形態であると考えている。

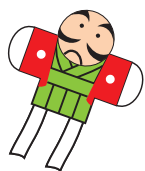
### 文教病院委員会

10月26日開催

#### 公立病院の望ましい 経営形態は

〔病院事業会計〕

**問** 池田病院はこれまでから赤字体質脱却のため経営形態の見直しを検討してきたが、現時点における一番望ましい経営形態を問う。



### 少人数学級拡充の考えは

〔一般会計〕

**問** 少人数学級にすれば教育効果が上がることが世界で認められている中で、来年度文部科学省の指導により、ようやく小学校2年生までが35人学級になると聞く。

そこで「教育のまち池田」を標榜する本市において、市費により小学校6年生まで35人学級にする考えはないのか。

### 拡充の根拠の提示が必要

**答** 財政状況が厳しい中、小学校1年生から順に35人学級にするだけでなく、小学校3年生の次に義務教育のつなぎ目で課題を抱えやすい中学校1年生を35人学級にするなど、

さらなる少人数学級の必要性が提示されれば、教育施設の整備のために積み立てている教育振興基金を充当してでも応援していきたいと考える。

### 英語活動の授業の進め方は

〔一般会計〕

**問** 現在、小中学校に外国人

### 英語に慣れ親しむことから始める

**答** 現在、外国人英語講師は1小学校で年間18時間程度、中学校で1クラス当たり週二、三時間程度配置している。

まずは、年齢が低いうちに英語に慣れ親しむことが重要なため英語の生の音声や言葉の持つ特徴などを楽しい活動を通じて教えることが重要と考えている。そして中学校からは読む、聞く、書く、話すの技能を統合させて、英語によるコミュニケーション能力の向上を図っていきたい。



### コンビニ収納の導入予定は

〔国民健康保険特別会計〕

**問** 国保会計の健全化を図るには保険料収納率の向上が重要課題の一つであると考えている。

人口規模が本市と同程度の河内長野市では、被保険者の中で低所得階層の割合が本市に比べ高いにもかかわらず、平成20年度の収納率は、本市よりも約9%も高い93.48%と府内1位である。これは、コンビニ収納を導入したほか、休日や夜間の保険料納付相談窓口等を定期的、継続的に開設することにより、収納率が向上したものと考える。

### 他部署とも連携を図り検討

**答** 本市において、コンビニ収納を導入する予定はないのか。

**答** 保険料のコンビニ収納については、収納手数料等の費用負担の問題もあり、保険年金課だけで行うのは困難な点もある。そのため、全庁的な問題として税務部局などとも連携を図りながら、検討を進めていきたいと考えている。

なお、平成21年度では、大阪府内の3分の2以上の市は長引く不景気により収納状況が悪化しているが、本市では平成20年度に比べ収納率が0.78%アップした。これは債権回収センターとの連携はもとより、日常の収納率向上

### 待機者解消の方策は

〔介護保険事業特別会計〕

**問** 本市における特別養護老人ホームへの入居待機者数は、300名を超えているとのことだが、施設不足は否めないと考える。一方、国においては居宅介護へシフトする動きもあるが、今後、待機者問題をどのように解消しようと考えているのか。

### 地域密着型サービスの拡充等を検討

**答** 待機者問題解消のための大型施設の整備は、施設の必要性や、介護保険料との見合い、豊能圏域における調整等も必要となり、現状ではかなり困難であると考えている。

したがって、今後は保険料見合いも考えながらグループホームや、小規模多機能型居宅介護など地域密着型サービスの拡充、また、国が提唱する高齢者専用賃貸住宅の整備なども念頭に入れ、第5期の事業計画策定の段階で検討したいと考えている。

**社会福祉協議会  
合併後の効果は**

【一般会計】

**問** 平成21年4月にオープンした保健福祉総合センターの利用状況について問う。

また、池田さわやか公社と合併した池田市社会福祉協議会は同センターに移転したが、合併に伴う効果としてどのようなものがあるのか。

**地域社会全体での  
支え合いが進展**

**答** 平成21年度と同センターの利用状況は、貸し館利用が2万7266人、施設の各種事業への参加者が3万4941人と大変多くの方々に利用いただき、喜ばれている。

また、社会福祉協議会は、さわやか公社との合併により、従来から行ってきた地域福祉活動に、さわやか公社が行ってきたヘルパー派遣や、在宅福祉サービス、相談機関としての地域包括支援センターに係る事業が加わり、地域社会全体で高齢者や、障がい者の方を支え合うシステム構築が一層図られたものと考えている。

**土庫消防委員会**

10月14日開催

**今後の雨水対策は**

【公共下水道事業会計】

**問** 本市で発生したゲリラ豪雨に対する災害対策のため、八王寺川雨水増補幹線等の整備を順次行っているが、現在本市の雨水対策はどの程度進んでいるのか。

また、今後はどの地域の整備を重点的に行っていくと考えているのか。

**面整備を中心に対策を強化**

**答** 現在、本市の雨水幹線の整備率は、96・7%とほぼ完了しており、今後は汚水と雨水の分流化促進とあわせて枝線の整備が必要であると考えている。

一方、平成21年度末現在の計画区域に対する面整備率は36・4%であり、今後は池田処理区では、室町、神田、大和町、建石町等の面整備を行っていく。

また、石橋地区では石橋第

1増補幹線の整備に引き続き、石橋第2増補幹線の整備を行い、雨水対策の強化を図っていきたくと考えている。

**橋りょうの長寿命化修繕計画の内容は**

【一般会計】

**問** 平成19年度と20年度の市内橋りょう点検の結果を受けて、平成21年度には道路橋りょう長寿命化修繕計画を策定しているが、修繕計画の内容と総工費について問う。

**緊急性の高い10橋を  
優先的に修繕**

**答** 修繕計画の内容は、今回修繕が必要と判断した18橋のうち、特に損傷が激しく、50年以上経過している橋や、交通量の多い橋など緊急性の認められる10橋について、平成27年度までの6年間で優先的に修繕する予定である。

また、総工費については、設計費等も含め、2億5千万円程度を見込んでいます。



**やまばと**



新年あけましておめでとうございます

皆様には日頃から市議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、景気低迷が長引き、新年とはいえ、なかなか心より喜ばないところもあるのではないのでしょうか。ただ、本号でお伝えしたとおり、平成21年度決算が、国の財政措置もあって、その内容はさておくとしても、黒字決算となったことは、少しばかりほっとするところです。

ところで、先日「前号の記事の見出しに見つらいところがあったよ」との市民の方から電話がありました。市民の皆様のご意見を真摯に受け止め、最後まで身を引き締めて、残り少ない任期、正確でわかりやすい紙面づくりに努めてまいりますので、引き続きご愛読のほど、よろしくお願いたします。

市議会だより編集特別委員会  
委員長 山元 建  
副委員長 秦 寛房 実  
委員 新井 芳江  
委員 多田 隆一